

## 令和7年度 障害福祉に関するアンケート調査 概要報告

## 1. 調査の目的

- ・ 障害者の心身の状況、生活の状況やサービスの利用意向等を把握する
- ・ 第7次佐倉市障害者計画の中間見直し及び第8期佐倉市障害福祉計画の策定にあたり基礎データを収集する

## 2. 調査対象者と調査方法

## (1) 調査対象者

- ・ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持者
- ・ 自立支援医療(精神通院)の利用者

## (2) 調査方法

- ①抽出調査(層出抽出法);各障害者手帳の所持者を母数とし、18歳未満と18歳以上の階層に区分し無作為で抽出
- ②調査対象者数;2,500人(18歳未満122人、18歳以上2,378人)

3. 調査期日 令和7年11月21日(金)~12月19日(金)

4. 調査方法 対象者へ調査票を郵送  
(回答方法) 郵送またはWebによる回答

5. 回答数 回答総数 1,158 (46.3%)  
うち郵送回答 948 (81.9%)  
Web回答 210 (18.1%)  
  
有効回答 1,105 (44.2%)  
無効回答 53 (※集計不可のもの)

(回答内訳)

	人数 (※)	構成比	調査 対象	有効 回答数	回答率
身体障害	4,918	50.2%	1,256	618	49.2%
知的障害	1,196	12.2%	305	169	55.4%
精神障害	2,186	22.3%	558	205	36.7%
自立支援(精神通院)のみ	1,492	15.2%	381	113	29.7%
合計	9,792	100%	2,500	1,105	44.2%

# 令和7年度障害福祉アンケート 集計報告（一部抜粋）

51 あなたは、日頃、差別や偏見、疎外感を感じることがありますか。（○は1つだけ）

n=1105

	身体	療育	精神	自立	合計
1.よく感じる	26	24	45	15	110
2.ときどき感じる	107	77	77	22	283
3.ほとんど感じた事はない	189	37	41	34	301
4.まったく感じた事はない	234	25	31	40	330
無回答	62	6	11	2	81
合計	618	169	205	113	1105

52 あなたは、どのような時に差別や偏見、疎外感を感じましたか。（あてはまるものすべてに○）

n=1272(複数回答あり)

	身体	療育	精神	自立	合計
1.学校やPTAなど教育の場	7	20	16	4	47
2.仕事や収入面	55	38	86	32	211
3.コミュニケーションや情報の収集	44	24	30	12	110
4.スポーツ・趣味の活動	27	10	6	1	44
5.家庭内	28	5	35	11	79
6.近隣のつきあい	38	24	29	15	106
7.自治会や地区の行事などの集まり	25	15	8	11	59
8.スーパーや飲食店などでの接客、応対	31	43	25	6	105
9.交通機関の利用時	82	32	35	9	158
10.市役所等公共施設の利用時	20	7	16	5	48
11.障害者施設や障害福祉サービス事業所	9	6	17	1	33
12.その他	20	8	11	10	49
無回答	161	24	28	10	223
合計	547	256	342	127	1272

53 あなたは、3年前と比べて、障害(者)に対する周囲の理解が進んでいると感じますか。（○は1つだけ）

n=1105

	身体	療育	精神	自立	合計
1.かなり進んでいると感じる	23	9	12	5	49
2.ある程度進んでいると感じる	169	39	39	23	270
3.進んでいるとたまに感じる	110	41	38	27	216
4.進んでいると感じた事はほとんどない	166	55	74	33	328
5.進んでいない	43	13	25	18	99
無回答	107	12	17	7	143
合計	618	169	205	113	1105

54 あなたはご自身の障害について特に周囲に理解してほしいと思うことはなんですか。（○は1つだけ）

n=1105

	身体	療育	精神	自立	合計
1.障害の特性について	127	59	94	41	321
2.必要な配慮や支援	194	81	64	23	362
3.その他	13	6	5	2	26
4.特に理解してほしいことはない	204	10	25	42	281
無回答	80	13	17	5	115
合計	618	169	205	113	1105

55 障害のある人にとって暮らしやすいまちづくりのためには、特にどのようなことが必要だと考えますか。（あてはまる3つの番号を回答欄に記入）

n=2,822(複数回答あり)

	身体	療育	精神	自立	合計
1.重度の障害がある人に対応した入所施設の充実	114	38	25	17	194
2.グループホームなどの生活の場の充実	44	66	20	11	141
3.いつでも気軽に相談できる相談窓口の充実	234	65	98	51	448
4.必要な情報が入手しやすく、円滑な意思疎通ができるための施策の充実	117	23	46	25	211
5.公共施設や公共交通などのバリアフリー化	99	11	12	10	132
6.障害のある人が利用しやすい移動手段の充実	178	29	34	19	260
7.就労の場の充実	56	45	86	40	227
8.障害のある人が参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実	41	20	11	5	77
9.地震など災害時の支援体制の整備	165	43	38	22	268
10.訪問医療・看護などの在宅支援サービスの充実	123	12	22	16	173
11.療育・生活訓練・職業訓練などの通所支援サービスの充実	21	23	20	12	76
12.夜間や緊急時における医療機関との連携	147	21	27	26	221
13.障害についての理解の促進、差別的扱いや偏見をなくすための教育や広報活動の	66	47	57	18	188
14.様々なボランティア活動の育成	13	8	6	4	31
15.その他	7	3	6	1	17
16.特にない	34	4	14	8	60
無回答	73	7	12	6	98
合計	1532	465	534	291	2822